おもしろ建築物紹介 その 16　オガールプラザ

1974 年卒 飯山道久

岩手県紫波町に建つオガールプラザ、図書館・産直販売所・子育て支援施設・音楽スタジオ・店舗等を含む、官民複合公共施設の大規模木造建築物です。2 階建て延べ面積 5,779 ㎡ですが、RC 耐火構造の連結棟を 2 か所挟んで 3 分割の別棟扱いで、大部分の面積を木造準耐火構造にしています。2 階のマンサード型屋根は、方杖付 2 ヒンジ山形ラーメン（カラマツ集成材 2-120×390）と脚部のスラストをΦ20 ㎜のタイロッドで抑えて、スパンが 27.3mもあります。床大梁（カラマツ集成材 2-120×450）も含めて、大断面集成材を用いるコストアップを避ける為に、梁が住宅用中断面集成材 2 丁合せで形成されています。プレカットや住宅用梁受金物も活用することで構造躯体費は約 11 万円/坪と、RC 造より低コスト化できたとのことでした。2012 年 6 月竣工、2 丁合せ梁で燃え代設計木造準耐火構造の初めての物件と思われます。

紫波町図書館

紫波マルシェ

2 階に音楽スタジオが幾つも並んでいる。
右の吹抜の下は、紫波町情報交流館。

図書館・マルシェも、2 階床がない吹抜を含む部分には、軒高の少し下のレベルにタイロッドが設けられている。

2012 年 1 月　工事中

2 階屋根の山形ラーメン

床梁は 2 丁合せ。隣り合う区画の梁方向を直交させることで、区画辺の梁への荷重集中を避けている

小屋梁も 2 丁合せ

2 階床面で、山形ラーメンの脚部を締付けるタイロット

盛岡の南 17km 程の JR 東北本線紫波中央駅の西側に、オガール紫波（10ha 強）が広がっています。木材利用やエネルギーの有効活用等をテーマに、官民連携で地域活性化プロジェクトが推進されています。その中でこのオガールプラザが最初に竣工し、その後オガールベースや町役場庁舎、戸建て分譲住宅のオガールタウン等が次々と整っていっています。

2014 年にエネルギーステーションが完成し、町内の間伐材等をチップ化した燃料で熱水を作り、地中配管でエリア内に熱供給を始めています。オガールタウンの戸建て住宅でも、熱交換して給湯や暖房に利用されているとのことです。

人口 33,000 人程の紫波町に、最近は年間 80 万人が訪れているとのこと、関連研修視察（有料）も受入れているようです。2016～17 年と 2 年連続で議員や自治体職員の視察受け入れ件数が全国トップの事業とのことです。

＜google 地図参照＞　https://www.google.co.jp/maps/@39.5542355,141.1574135,18.93z

（写真撮影日：2012.01.09 及び 12.14）

（2019.02.01）